

令和元年 12 月 15 日(日)香川大学医学部の臨床講義堂にて、橋本クリニック経堂の院長、橋本圭司先生をお招きし、『子どもと大人の発達障害』というテーマでご講演頂きました。県内から 53 名、県外からは 2 名が参加いたしました。また、今回は初の試みとして午前 2 時間、午後 2 時間の合計 4 時間でご講演頂きました。

ご講演の内容としては発達障害の基礎的な症状から具体的な対応策についてもお話頂きました。日々の臨床現場で違和感を感じている部分や自分自身の中ではっきりとした答えを見つけることができなかった部分について、先生のお話を聴くことではっと気付かされた事が多くあったと思います。そして先生が日々の臨床でご経験されたとても人情味あふれるお話はとても興味深く聞き入ってしまい、4 時間という時間はあっという間に過ぎてしまいました。

講演終了後のアンケートでは、内容、理解度、講演会の長さのすべてでとても良い結果でした。また、印象に残った内容として『発達障害について新しい概念や用語を整理することができた』、『診断ではなく特性を伝える、神経発達症の本人のみではなく周囲の関わり方にも目を向ける必要性を学びました』、『人を変えることはできないが、自分の行動は変えることができる』等がありました。

この場で改めて橋本先生にお礼を申し上げたいと思います。橋本先生、大変貴重なお話を聴かせて頂き、本当にありがとうございました。

